

(8) 外国語

1 設置科目及び履修要件

(カッコ内は標準単位数)

英語コミュニケーションⅠ(3)
英語コミュニケーションⅡ(4)
英語コミュニケーションⅢ(4)
論理・表現Ⅰ(2)
論理・表現Ⅱ(2)
論理・表現Ⅲ(2)

新設
新設
新設
新設
新設
新設

必修科目



ここがポイント!

- 「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」
…コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成。
英語コミュニケーションⅠは**中学校の学習内容の定着**を含む。
- 「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」
…発信力(「話すこと」「書くこと」)の育成。

今回の特徴

2 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することをめざす。



ここがポイント!

目的や場面、状況、相手の反応などを踏まえた上で、適切な語彙や表現などを選択して活用できる能力を身に付けるための実践的な言語活動の一層の充実が求められる。

3 各科目の内容

英語コミュニケーション Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の五つの領域別又は複数の領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動を通して、五つの領域を総合的に育成。 ・ 「話すこと」における即興性の重視。 ・ 学習語彙の増加 従前 1,800語程度 → 新 1,800~2,500語程度
論理・表現 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の三つの領域の力を重点的に育成。 ・ 論理の構成や展開の方法を理解し、適切な表現を使えることを重視。

4 各科目の履修に関する配慮事項

【履修は、次の順序を原則とする。】

- 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」の順に履修すること。
- 「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」の順に履修すること。

5 小・中学校での内容(主な変更点等)

小学校	中学校	高等学校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 600~700語程度の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学習した語に加えて1,600~1,800語程度の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校で学習した語に加えて1,800~2,500語程度の学習
小学校 ←	<ul style="list-style-type: none"> 頻出動詞の過去形及び基本的な代名詞 	←
	中学校 ←	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な感嘆文及び仮定法

6 新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業の創造

「何ができるようになるか」～外国語科において育成をめざす資質・能力～

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解 実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解する力 理解したことを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深める態度 聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

「何を学ぶか」～外国語科において重視する学習内容・学習活動～

語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく，生徒の学びの過程全体を通して，知識・技能が，実際のコミュニケーションにおいて活用され，繰り返し思考・判断・表現することを通して獲得され，学習内容の理解が深まるなど，資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要。

「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の力を総合的に育成(必修科目を含む)

発信力の育成をさらに強化

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の力を総合的に育成
- 明確な目標(英語を使って何ができるようになるか)を達成するための構成・内容
- 複数の力を結びつけた統合的な言語活動が中心
- 「英コミュⅠ」は中学校段階での学習の確実な定着(高等学校への橋渡し)を含む

学習指導要領に掲げられる資質・能力を確実に育成するための指標形式の目標を段階的に設定

論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

- 「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」を中心とした発信力の強化
- スピーチ，プレゼンテーション，ディベート，ディスカッションなどの言語活動が中心
- 聞いたり読んだりして得た情報や考えなどを活用してアウトプットする統合型の言語活動

I→Ⅲへ内容の高度化・話題の多様化

生徒が実社会や実生活の中で，自らが課題を発見し，主体的・協働的に探究し，英語で考えや気持ちを互いに伝え合うことを目的とした学習

「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

【「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践の例】「英語コミュニケーションⅠ」

	教員からの指示等	生徒の活動
聞く	動画を提示する。	ある社会的な話題に関する短い動画を見る。
やり取り	英語による意見交換を促す。	動画の感想を，生徒間で意見交換する。
聞く	聞き取る必要のある情報を提示する。	再視聴しながら情報をメモする。
発表	英語による意見交換を促す。	メモを基に聞きとった内容を口頭で要約し，ペアに伝える。
やり取り	動画の内容について生徒とやり取りする。	教員とともに動画の内容を確認する。
読む	動画に関連する英文を提示する。	英文を黙読する。
やり取り	英語による意見交換を促す。	英文の概略について生徒間で意見交換する。
読む	読み取る必要のある情報を提示する。	再度黙読しながら情報に下線を引く。
やり取り	説明文の内容について生徒とやり取りする。	教員の質問に答えながら英文の内容を確認する。
やり取り	英語による意見交換を促す。	英文で扱われている社会的な話題に関する自分の意見をペアで伝え合う。

※ 後日，定期考査で類似した社会的な話題に関する自由英作文を出題することも考えられる。